

今日のキーワード EUはトルコと欧州「難民」抑制で新合意（欧州）

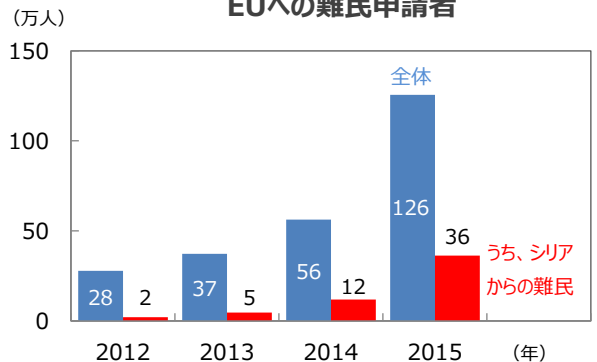
「難民」は、民族紛争や迫害などで、自らの居住国・地域を離れざるを得ない人々のことを言います。2015年に欧州連合（EU）に「難民」申請した人は約126万人となり、そのうち、約36万人が内戦が激化したシリアからの「難民」でした。EUは、「難民」の流入を抑制するため、8日にトルコと新たな「難民」抑制策で大筋合意しました。EUは、17日～18日のEU首脳会議で「難民」抑制策の最終合意を目指します。

ポイント1 トルコ経由でギリシャに渡った「難民」はすべて、トルコに送還 EUはトルコ内のシリア「難民」を引き受け

- EUとトルコは8日、新たな「難民」抑制策で大筋合意しました。EUは陸路の国境管理を強化したため、海路での「難民」の密航が増えたことが背景です。
- トルコは、「難民」を自国にとどめる代わりに、EUから受け取る支援金を60億ユーロへと倍増を要求しました。しかし、一部のEU加盟国が慎重な態度を示し、最終合意はEU首脳会合に持ち越されました。

ポイント2 EU基本法では、負担に偏り シリアの内戦激化により「難民」急増

- EUで難民問題が解決に向けてスムーズに進まない理由は、大きく2つあります。それは、①加盟国間の利害調整の難航、②経済的理由による偽装「難民」が紛れたことによる「難民」数の急増、です。
- EUの基本法では、「難民」の保護は最初に到着した国が責任を負う、と決められています。これではEU域外に面する国に負担が集中してしまいます。
- また、シリアの内戦激化によるシリアからの「難民」の急増は、各国からの偽装「難民」も増やすこととなりました。



(注) データは2012年～2015年。

(出所) 欧州統計局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 EUは「難民」の流入抑制の強化へ

■ EU首脳会議で、足並みを揃えられるか注目

EU首脳会議では、これまで「難民」の各加盟国の分担などを決めてきました。しかし、この決定に従わない国があり、同会議の拘束力に疑念が生じています。今回、「難民」の流入抑制に向けて、EU加盟国が足並みを揃え、最終合意に達することが出来るかが注目されます。

■ シリア和平協議の進展が最終的なカギ

14日に、シリア和平に関する実質的な協議が再開される見込みです。停戦合意が「難民」問題解決の一つのカギですが、交渉には時間を要すると見られます。それまでは、200万人超のシリアからの「難民」をすでに受け入れているトルコへの支援拡大と、「難民」への地球的規模での人道的支援拡大が期待されます。

ここも
チェック! 2016年 2月10日 ドイツは「難民」対策で財政拡大へ（欧州）
2016年 1月 7日 「英国のEU離脱（Brexit）」（欧州）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。